

東京のすみずみから、全国各地から、第36回日本高齢者大会に参加しましょう

# はっぴゃくやちょう

第36回日本高齢者大会in東京 東京実行委員会

〒170-0005

東京都豊島区南大塚3-1-12 生方ビル4F

TEL 03-5956-8781/FAX 03-5956-8782

E-mail tokyo.koureiki@gmail.com

## 大会まであと2か月半です

## 各地の取組みを急ピッチで

### 三多摩実委では21地域に呼びかけ中

三多摩実行委員会では21の地域に実行委員会を作るよう奮闘していますが現状では困難な状況の地域もあります。西多摩地域では8月18日に第2回実行委員会を開催、調布では「豊かな老後をめざす調布の会」として取り組む、府中では7月21日に連絡会幹事会で実行委員会として取り組むことを確認。西東京は7月13日に第2回実行委員会を開催。東久米、八王子も実行委員会を結成して取り組む予定。立川、日野でも取り組む方向です。その他地域では健康友の会と相談中やこれからオルグの予定など奮闘中です。

### 23区の取組み強化を

23区の状況は前回の取組みと比べても大幅に遅れている状況です。全区に実行委員会の結成が望まれますが、取り組める団体が中心になって取組みを進めましょう。社保協、健康友の会、医療生協、年金者組合、土建、民医連院所などまず取り組めるところから始めましょう。

区への高齢者要求の要請行動も同時に進めましょう。

9月19日(火)には23区地域運動交流会があります(裏面参照)自治体要求の取組みを持ち寄って交流し合ひましょう。

#### 全体会プログラム(案)8/29現在

開始 10:15

オープニング うたごえ

開会宣言

主催者あいさつ

歓迎のあいさつ

来賓・メッセージ紹介

記念講演

基調報告

文化行事

分科会報告

アピール・舞台上プラカード

青年のメッセージ

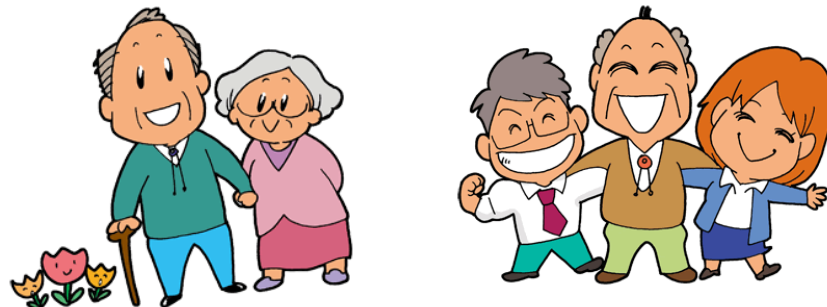
大会旗引継ぎ

次回開催地あいさつ

閉会あいさつ

終了 13:00

\* 変更する場合があります



#### 地域・団体の取組み状況をお知らせください

皆さんの地域や団体でさまざまな取組みが行われていると思います。なかなか取組みが進まないなどの悩みもあると思います。皆さんからの投稿が参考になる場合もあるかと思ひます。是非取組み状況をお知らせください。写真も歓迎します。

下記のメールアドレスにお願いします

tokyo.koureiki@gmail.com



## 23区地域運動交流会のお知らせ

ご奮闘に敬意を表します。

第36回日本高齢者大会は、11月12日(日)13時から大正大学で講座・分科会、11月13日(月)10時15分から文京シビックセンター大ホールで全体会を行います。

地域に高齢期要求実現の運動の拠点を確立していくことは、今回の高齢者大会の大きな重点の1つです。下記の交流会では、高齢者大会参加に向けての各地域の取り組みを交流するとともに、自治体要求のとりくみを交流し、地域に高齢期要求実現の運動のよりどころをどのように作り出し強化していくか話し合いたいと考えています。ぜひご参加下さい。

### 23区地域交流会

日時 9月19日(火)14:00~16:30

会場 東京都生協連会館3階会議室

内容 第36回日本高齢者大会参加にむけた地域の取り組み交流  
高齢者要求に基づく自治体要求の取り組みの交流

Zoom <https://us02web.zoom.us/j/85037874136?pwd=SWVqTHRURTNCdW1yMWpOSURyY2tFUT09>  
ID: 850 3787 4136 パスコード: 774345



## 葛飾区へ要請書提出—葛飾高齢者懇談会



葛飾区長 青木克徳殿

葛飾区に於ける高齢者の暮らしを豊かにする要請書

葛飾区お花茶屋2-2-15  
電話・FAX 03-3601-9063  
葛飾高齢者懇談会  
会長 西川 正二

住民のいのちと暮らし充実のため、日夜努力されていることに敬意を表します。葛飾区における65歳以上の高齢者は113,500名となり区内人口465,000名に対して24.4%と高い割合を占めています。現在、高齢者は全世代型社会保障の名のもとに高齢者医療費の窓口負担が2割になるなど、医療・介護・生活保護などの改悪が進められています。さらに年金の切り下げなど高齢者の生活は厳しくなっています。私たち葛飾高齢者懇談会は2019年に葛飾区に対して高齢者の暮らしを豊かにするために要請書を出し、懇談してきました。しかし、コロナがまん延したために中断してしまいました。その後の継続と新たな要請も加えて要請書をまとめました。ご検討いただきたく提出いたしますのでよろしくお願いいたします。

#### 1. 保険・医療に関する要請

- ①「保険証廃止」をしないよう国に意見書をあげてください。
- ② 75歳以上の医療費窓口負担を1割に戻すように国に要請してください。
- ③ コロナウイルス感染症5類移行に伴う感染者の負担に対して区で補助してください。
- ④ 高齢者に対する熱中症対策として、エアコン設置への補助・電気料金補助を検討してください。

葛飾高齢者懇談会は8月30日に葛飾区に対して「葛飾区に於ける高齢者の暮らしを豊かにする要請書」を提出しました。提出には5名が参加しました。要請書は区内各団体から要求を出し合って事務局でまとめ、世話人会で確認しました。要請書の内容は「保険・医療に関する要請」「介護の改善・充実に関する要請」「くらしと福祉に関する要請」「高砂団地跡地に関する要請」の4区分で15項目の内容です。区からの回答を待って、その後区との懇談を行う予定です。

10月7日(日)には「葛飾高齢者のつどい」を行い葛飾区へ要請したその後の進捗状況を報告する予定です。つどいでは学習講演で介護保険を学びます。

区内では医療生協の支部が「補聴器」の学習会を開催したところ沢山の方が参加して関心の高さを感じたそうです。「補聴器を買ったけれど私には合わない」「高いのを買ったけど使っていない」など補聴器の正しい購入方法とサポート体制が整っていないことが原因と思われます。講師は補聴器問題に詳しい元台東区議会議員の杉山光男さんが行いました。具体的な説明、質問への丁寧な受け答えなど大変好評だったようです。

補聴器問題は補助金の問題だけでなく適正な補聴器の購入方法と個人への補聴器の調整サポート体制の整備が必要と感じました。